



筑西市市議会議員
日本共産党市議団長

県政に市民の願い届けます
**新中核病院の実現で
救急体制の確立を！**

- 1944年（昭和19年）旧下館市樋口に生まれる。68歳。
- 下館一高卒業、日本ハム茨城工場入社、上京後、氷川下セツルメント病院勤務
- 昭和50年下館市議初当選（30歳）以後筑西市まで通算10回当選
- 樋口雷神社氏子総代 ● 家族は妻、一男と猫と犬、趣味は野球と日本画
- 筑西市樋口973-5 電話0296（24）0278

（部内資料）

鈴木さとし

橋本県政とオール与党ですすめた大型開発への
片寄り過ぎで 借金が2兆円にも
知らないうちに

県政のそんなところを変えて
全国8位の財政力を暮らしに生かせば
筑西市はもっと良くなる

県のお金の使い方を生活密着型に切り替えれば、
医療、子育てや介護など福祉の充実や、農業、
中小業者の頑張りを応援することができます

医療・福祉は全国最低クラス（47都道府県で）

医師数	46位
看護師数	46位
児童福祉費	43位
老人福祉費	41位

茨城県発行『茨城
早わかり』より

鈴木さとしは働きます

- ★ 新中核病院の実現、大学との連携、県の支援拡大をすすめます
- ★ 県政のムダ使いをチェックし医療・福祉の充実をすすめます
- ★ 筑西市民の生の声をズバッと県政に届けます
- ★ 『県政情報』を発行し、これまでの『市政情報』同様に市民の目線で分かりやすく報告します

「県会議員はなんだか遠い人」という今までのイメージを私は変えたい。

身近で見える県議が必要では

鈴木さとし

ハッキリものが言える実力派

すぐに役立つ

新中核病院実現のため厚労省へ



キッパリ言えるから共感されて



議会の一般質問は毎回、市長提案への議案質疑も欠かさず、ムダ使いなどのチェックをしてきました。率直な指摘や提言は、歴代の市長も一目置いてきました。議員の間でも「立場は違うが、なるほどもつともだ」と共感されることもしばしばです。

新中核病院の協議が難航するたび、確かな情報は厚労省からとと考え、直接聞き取りをおこなうことで、展望を切り開き確かに打開策を提言してきました。

ブレずに市民ひとすじ、その気さくさが「共産党らしくない共産党だね」と親しまれ

「鈴木さんは、共産党なのに共産党らしくないところがいいね」とよく言われます。本人は、「市民とともに考え、困難を解決していくのが共産党员として当たり前のこと。そんな生き方を信念としてきただけ」と語ります。飾らない人柄で、10期39年間斌ずに頑張ってきた原

すぐやってくれる人

「頼むよサトツさん」
解決した相談5000件

困っている人を見ると
だまつていられない性格
で、議員になつてから解
決した相談は5000件
以上。行動力には定評が
あります。



『市政情報』は市民の大事な情報源



毎月発行している『市政情報』は、今や市民の大事な情報源になっています。今度は『県政情報』として情報提供型で分かりやすく伝えます。

大震災で役立った『災害緊急情報』の発行

3・11大震災の混乱の中、自費で発行した『災害緊急情報』を発行しました。多くの人から「本来は行政がやるべきことなのに、よく伝えてくれた。ありがたい」と喜ばれました。

